“教員の心に を付ける” OJT News No.2 平成29年度 広島市教育センター

楽々園小学校編

若手研修を教務部が立案・実施

今年度は，前号に示したOJTの実践における課題の５項目①「時間の確保」②「計画的な取組」③「研修指導者の確保」④「参加意欲・主体的な学び」⑤「組織的な取組・組織づくり」に対応した実践を紹介します。

この度，紹介する学校は，**③「研修指導者の確保」④「参加意欲・主体的な学び」⑤「組織的な取組・組織づくり」**の３項目に対応した実践をされている楽々園小学校です。

５つの視点	
	①時間の確保
	②計画的な取組
○	③研修指導者の確保
○	④参加意欲・主体的な学び
○	⑤組織的な取組・組織づくり

昨年度，本校には，３名の若手教員が在籍していました。若手教員のそれぞれが切磋琢磨し，学級運営や授業実践などに熱心に取り組むものの，様々な悩みや不安感を抱えていることも分かりました。そこで，若手教員の悩みや不安を解消し，自信をもって実践できるよう研究主任が中心となって若手研修に取り組みました。

今年度は，この取組をより組織的に推進するため，教務部の業務として校務分掌に位置付け，若手研修の一層の充実を図っています。

具体的には，**教務部が主導**してアンケートにより若手教員の**ニーズを収集**したうえで**全体と個別のどちらで研修する方が効果的**か，その研修方法や内容について**検討・実施**します。

全体研修では，生徒指導や学級経営などについて話合ったり，テーマごとに先輩教員を指導者とし，得意分野を生かした実技・演習を実施したりしています。

個別研修では，**若手教員のニーズに合った先輩教員とのペアをセッティング**します。各教員が授業を担当していない時間を調整することで，先輩教員の負担も軽くなり，若手教員へのきめ細かな指導を実現しています。

これらの取組は，若手教員の日ごろの悩みに対応することで，**自信あふれる実践**や同僚性の向上につながっています。

＜研修の流れ＞　若手教員のニーズに対応した実践例

【校長コメント】

本校の学校経営目標にもある「教師も子どももよく育つ学校」づくりの一つとして，日常的に学び合う環境が整ってきました。育てたい！教わりたい！と思い合える学校文化を醸成しながら，今後も，人が育つ学校にしていきたいと思っています。

【研究主任コメント】（H28年度）

本研修に対して，若手の先生方が「ためになった」と言ってくれたことが心に残ります。若手の先生方のひたむきな姿を見て，ベテラン教員も刺激を受け，双方向的に意欲や力を伸ばせる研修になったと思います。今後も継続し，学校の組織力向上の一助となればと思っています。

【若手教員Aコメント】

いろいろな先生方の授業を見させていただき発問の使い分けや具体的な児童への声掛けを学ぶことができました。また，学習規律の身に付けさせ方についても参考になることが多くあり勉強になりました。

【若手教員Bコメント】

子どもたちとの関わり方や板書，授業の進め方などを学びました。また，他の学年の先生方から普段では聞けないことや自分の悩みについて話合えたことはとてもよい機会となりました。

【若手教員Cコメント】

他の先生方の授業を参観する機会があり，発問や話し合いの工夫，めあてからまとめまでの授業の流れなど大変参考になりました。また，自分の悩みや他の先生方の苦労話を聞くことができ，実りのある時間となりました。